

平成29年2月

福嶋健人 学位論文審査要旨

主 査 景 山 誠 二
副主査 林 一 彦
同 清 水 英 治

主論文

γ -tocotrienol inhibits TGF- β 1-induced contractile phenotype expression of human airway smooth muscle cells

(γ -トコトリエノールはヒト気道平滑筋細胞におけるTGF- β 1誘導収縮性フェノタイプ発現を阻害する)

(著者：福嶋健人、山崎章、原田智也、千酌浩樹、渡部仁成、岡崎亮太、高田美樹、長谷川泰之、倉井淳、矢内正晶、山本章裕、末田悠里子、Andrew J. Halayko、清水英治)

平成29年 Yonago Acta Medica 60巻 16頁～24頁

参考論文

1. Causes of death in patients with asthma and asthma-chronic obstructive pulmonary disease overlap syndrome

(喘息と喘息-慢性閉塞性肺疾患オーバーラップ症候群患者における死因)

(著者：原田智也、山崎章、福嶋健人、橋本潔、高田美樹、小谷昌広、岡崎亮太、武田賢一、渡部仁成、倉井淳、清水英治)

平成27年 International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease
10巻 595頁～602頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、気道リモデリングの中で重要なメディエーターのひとつであるTGF- β 1に着目し、ヒト気道平滑筋の収縮性フェノタイプへの分化と細胞外基質の産生を抑制する化合物の探索を行ったものである。 γ -トコトリエノールの活性を検討した結果、この物質はTGF- β 1の作用を阻害し、ヒト気道平滑筋細胞の収縮性フェノタイプへの分化と細胞外基質産生に対する抑制効果を示した。本論文の内容は、 γ -トコトリエノールが気管支喘息でみられる気道リモデリングを調節するための治療薬となる可能性を示しており、明らかに呼吸器学における学術水準を高めたものと認める。